

政策シート

(政策名) 一人ひとりが自己実現できる男女共同参画の推進
(予算費目名) UD・男女共同参画費

(総合計画体系)

「分野」 地方自治・都市経営

30年後の姿 協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。

10年後の目標

- ・ 協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。
- ・ 公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

◆基本政策 だれもがいいきと暮らせる市民主体の地域社会の実現

◇政策の概要

持続可能な経済成長を達成しながら、社会の活力を維持していくためには、すべての人が性別に関わりなく個人として尊重され、自らの意思によりその個性と能力を十分に発揮することが不可欠であり、とりわけ女性が活躍できる環境づくりが急務である。このようなことから、これらを阻害する根底にある「固定的性別役割分担意識」の解消に向け、市民や市民団体等と連携した取組を一層推進する。

◇関連するSDGsのゴール

④教育	⑤ジェンダー								
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	38,373	31,858				
決算	36,303					
人件費(A)	27,300	16,800				
報酬(B)	150	165				
年間経費(予算又は決算+A+B)	63,753	48,823				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
男女共同参画社会実現に向けた市の取り組みに対する満足度	%	目標	15	15	18	20	23	25
		実績	7.6					
活動拠点施設で開催された講座の満足度	%	目標	95	95	95	95	95	95
		実績	98.2					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

持続可能な経済成長を達成しながら、社会の活力を維持していくためには、すべての人が性別に関わりなく個人として尊重され、自らの意思によりその個性と能力を十分に発揮することが不可欠であり、とりわけ女性が活躍できる環境づくりが急務である。そこで、それらを阻害する根底にある「固定的性別役割分担意識」の解消に向け、市民や市民団体等と連携した取組を一層推進する。また、企業には、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍推進の重要性を認識し、自主的な取組を行うための環境づくりを支援する。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
・令和元年度の男女共同参画社会実現に向けた市の取り組みに対する満足度は、前年度8.9%から1.3ポイント低下の7.6%となり、目標数値15%を下回った。	
・平成29年度開催「NAOTORA女性サミット」の大会宣言を受け、引き続き、市内企業の経営者・管理職等を対象にセミナーを開催、地域におけるワーク・ライフ・バランスや女性活躍推進を進めるための情報等を提供した。	
・男女共同参画の拠点施設「あいホール」で実施の各種講座の満足度は高いが、より充実した講座等が開催できるよう、プログラムの多様化等を図る検討が必要である。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	男女共同参画推進事業	○	○			14,798	2,733	1.3			1.0	165
2	ワーク・ライフ・バランス推進事業	○	○	○								
3	DV防止支援事業					6,959	4,859	0.3				
4	活動拠点施設事業			○		27,066	24,266	0.4				
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						48,823	31,858	2.0			1.0	165

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 男女共同参画推進事業

◇事業目的・事業対象

固定的な性別役割分担意識を解消し、男女が互いに人権を尊重するとともに、社会の対等な構成員として施策・方針などの意思決定の場に等しく参画できるよう、意識啓発や人材の育成などの事業を展開する。
また、男女共同参画審議会を開催し、男女共同参画に係る諸施策の調査審議を行い、男女共同参画社会の実現に向けた取組の推進を図る。

◇事業の概要

- ・市民が開催する学習会へ男女共同参画アドバイザーを派遣する「こらぼ講座」や、市民団体からの企画提案を委託にて実施する「男女共同参画提案事業」など、市民に向けた意識啓発事業を実施する。
- ・男女共同参画の意識を醸成するため、「男性向け家事サポートブック」を発行する。
- ・子供たちの教育に携わる教職員を対象に、意識啓発のための研修会を実施する。
- ・男女共同参画週間中(6/23～6/29)に、本庁舎1階ロビーで男女共同参画のパネル展示による広報、啓発活動を行う。
- ・男女共同参画審議会を開催し、男女共同参画の推進に関する重要事項を審議する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S63	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市男女共同参画推進条例	○	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	3,082	2,733				
	決算	2,121					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	2,121	2,733				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)		150	165				
人件費(千円)		11,900	11,900				
人工	正規	1.3	1.3				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育	○ 4.7	⑬気候変動	
⑤ジェンダー	○ 5.c	⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

男女共同参画を推進する学習の機会とは、ジェンダー平等への意識啓発につながるとともに、女性の能力が発揮される社会の実現が期待される。

令和2年度	(管理番号)	(担当課)	(責任者)	(基準日)
07 02 04 01 000615000 01	UD・男女共同参画課	新谷 直幸	令和 2 年 7 月 1 日	

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
こらぼ講座年間実施数(回)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	40	40	40	43	45	48	50
実績値	32	42					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
男女共同参画社会実現に向けた市の取組みに対する満足度(%)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	15	15	15	18	20	23	25
実績値	8.9	7.6					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・市民が開催する学習会へ男女共同参画アドバイザーを派遣する「こらぼ講座」や、市民団体からの企画提案を委託にて実施する「男女共同参画提案事業」など、市民に向けた意識啓発事業を実施した。
- ・男女共同参画の意識を醸成するため、市民向け情報誌「ハーモニー」を発行した。
- ・職員(新任監督者)や子供たちの教育に携わる新任教職員に対し、意識啓発を図るための研修会を実施した。
- ・国の男女共同参画週間に呼応して、本庁舎1階ロビーで啓発パネル展示を実施した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・こらぼ講座(42回／計画値40回)の実施や、市民団体からの企画提案を委託にて実施する「男女共同参画提案事業」を3事業採択するなど、市民に向けた意識啓発にかかる事業を実施した。
- ・市民目線による企画・編集により、意識啓発を目的とした情報誌「ハーモニー」を3,500部発行した。
- ・男女共同参画週間中(6月23日から6月29日まで)に市役所本庁舎1階ロビーにて、啓発パネル等の展示をするとともに、遠鉄バス等の電光掲示板による情報発信を行った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

男女共同参画の意識啓発につながる情報誌「ハーモニー」の編集や、地域の女性リーダー育成の必要性を考えるシンポジウムの開催を市民団体に委託するなど、市民団体との連携・協働により、市民目線による意識啓発につなげることができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

地域における男女共同参画の意識の醸成を図るとともに、男性の家事参画を促すための啓発冊子を発行する。

事業シート (事業名) ワーク・ライフ・バランス推進事業

◇事業目的・事業対象

長時間労働などの男性中心型労働慣行の見直しは、あらゆる分野における女性の活躍推進につながっていくことから、「仕事」と家事、地域活動などの「仕事以外の生活」とのバランス(ワーク・ライフ・バランス)を考えることが重要である。一人ひとりが、ワーク・ライフ・バランスを正しく理解し、職場や家庭、地域社会等における責任を果たすとともに、多様な活動に従事できるよう、地域におけるワーク・ライフ・バランスの一元的な推進を図る。

◇事業の概要

・ワーク・ライフ・バランス推進の重要性を理解するためのセミナーや、女性管理職育成のための講座等を実施する。
 ・ワーク・ライフ・バランスや女性活躍推進に取り組む事業所を認証する事業を実施するとともに、事業所におけるワーク・ライフ・バランス等の好事例を地域に広める。
 ・20代～30代の働く女性を対象に、継続就労やキャリアアップを支援するための講座を開催する。
 【R1-R4重点戦略項目No.18・71】
 ・男女がともに働きやすい職場環境づくりを支援するため、企業にワーク・ライフ・バランス等アドバイザーを派遣する。
 ・ワーク・ライフ・バランスや女性活躍に取り組む事業所を「ワーク・ライフ・バランス等推進事業所」として認証する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	-	一般会計	自治事務(その他)	女性活躍推進法	○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	5,991					
	決算	5,049					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	5,049					
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		9,100					
人工	正規	1.3					
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー	○ 5.c	⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

男性中心型労働慣行の見直しは、ジェンダー平等への意識啓発につながるとともに、女性の能力が発揮される社会の実現が期待される。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
はままつ働く女性応援ネットワークの参加者数(人)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	-	-			-		-
実績値	-	-					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
ワーク・ライフ・バランス等アドバイザー派遣事業所数(社)							18、71
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	7	7	-	-	-	-	-
実績値	5	3					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
ワーク・ライフ・バランス等推進事業所認証事業所数(社/年)					I -2(2)ア		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	30	30	-	-	-	-	-
実績値	14	8					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・主に20代～30代の働く女性を対象に、キャリアアップ及び就労継続を支援するための講座(全5回)を開催した。
 - ・市内事業所の経営者、管理職、人事担当者等を対象に、ワーク・ライフ・バランス及び女性活躍促進のための講演会、研修会(全3回)、事例発表会を開催した。
 - ・男女がともに働きやすい職場環境づくりを支援するため、企業にワーク・ライフ・バランスアドバイザーを派遣した。
 - ・ワーク・ライフ・バランスや女性の活躍推進に取り組んでいる市内事業所を認証及び表彰するとともに、その取組を紹介することで事業所におけるワーク・ライフ・バランス等の好事例を地域に広めた。
- 【重点戦略項目 No124】
- ・男女がともに働きやすい職場環境づくりを支援するため、企業にワーク・ライフ・バランスアドバイザーを派遣する。
 - ・ワーク・ライフ・バランスや女性活躍に取り組む事業所を「ワーク・ライフ・バランス等推進事業所」として認証する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

- ・市内在住又は在勤の20代～30代の就労中の女性を対象に、キャリアアップや就労継続を目的としたセミナー「浜松女子Happy Work Labo(計5回:延べ76人参加)」を開催した。
- ・ワーク・ライフ・バランスに配慮した働きやすい職場環境づくりを支援するため、市内3事業所(延べ7回)にアドバイザー(社会保険労務士)を派遣したほか、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍に取り組んでいる市内8事業所をワーク・ライフ・バランス等推進事業所として新たに認証した。
- ・市内の事業所を対象に、ワーク・ライフ・バランス推進及び女性活躍推進の必要性・重要性の理解を深め、企業におけるその取組を促進することを目的としたワーク・ライフ・バランス等推進プロジェクト「ミライの働き方2019～企業価値を高める本当の働き方改革～」(講演会、研修3回、事例発表会:延べ137人参加)を開催した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・ワーク・ライフ・バランス等認証事業所に対するインセンティブとして、物品購入及び業務委託における優先調達を新たに追加し、制度の充実を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

産業総務課へ業務移管

補助シート (事業名) ワーク・ライフ・バランス推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
18 71	・ワーク・ライフ・バランスアドバイザーを企業へ派遣をして、男女がともに働きやすい職場環境を推進する。 ・ワーク・ライフ・バランス等推進事業所認証制度により、事業所におけるワーク・ライフ・バランス等の好事例を地域に広める。	・ワーク・ライフ・バランスアドバイザーを企業へ派遣をして、男女がともに働きやすい職場環境を推進する。 ・ワーク・ライフ・バランス等推進事業所認証制度により、事業所におけるワーク・ライフ・バランス等の好事例を地域に広める。	・ワーク・ライフ・バランスアドバイザーを企業へ派遣をして、男女がともに働きやすい職場環境を推進する。 ・ワーク・ライフ・バランス等推進事業所認証制度により、事業所におけるワーク・ライフ・バランス等の好事例を地域に広める。	・ワーク・ライフ・バランスアドバイザーを企業へ派遣をして、男女がともに働きやすい職場環境を推進する。 ・ワーク・ライフ・バランス等推進事業所認証制度により、事業所におけるワーク・ライフ・バランス等の好事例を地域に広める。

事業シート (事業名) DV防止支援事業

◇事業目的・事業対象

男女が互いに個人としての人權を尊重し、配偶者やパートナーなど親密な関係で起こる暴力の防止に向けた啓発や被害者の相談支援体制の整備に向けた事業を展開する。

◇事業の概要

①DV防止啓発の推進

- ・DV被害の潜在化を防ぐため、DV防止啓発リーフレットを活用した広報・啓発活動を行う。
- ・DV相談専用ダイヤルをPRするため、相談窓口カード配架による周知を図る。

②DV相談支援センターにおいて、DV専用ダイヤルによる初期相談を実施

- ・DV被害の潜在化、重篤化を防ぐため、相談先を明確にするとともに、相談状況に応じて次のステップにつなげる。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	-	一般会計	自治事務(その他)	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	4,969	4,859				
	決算	4,802					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	4,802	4,859				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		2,800	2,100				
人工	正規	0.4	0.3				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー	○ 5.2	⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

女性に対するいかなる暴力も人権侵害行為であることから、DV防止のための取組は、ジェンダー平等への意識啓発につながるとともに、女性の能力が発揮される社会の大前提である。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
DV及びデートDV防止啓発講座の受講者数(人)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
実績値	2,032	3,431					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・DV被害の潜在化を防ぐため、DV防止啓発リーフレットを活用した広報・啓発活動を行った。
- ・DV相談専用ダイヤルをPRするため、相談窓口カード配架による周知を図った。
- ・若年層に対するデートDV防止に関する周知を図るため、デートDV防止啓発カードを作成して配布した。
- ・高校生を対象としたデートDV防止を啓発するための講座を開催した。
- ・DV相談支援センターにおいて、DV相談専用ダイヤルによるDV初期相談を実施した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・DV防止啓発事業として、女性に対する暴力をなくす運動期間中に、市役所本館1階ロビーでパネル展示(11/12～11/23)を行うとともに、遠鉄バス等の電光掲示板による情報発信を行った。
- ・高校生を対象としたデートDV防止の講演会・出前講座(開催回数:11回、参加者数:3,431人)を開催した。
- ・デートDV防止啓発カードを新たに作成し、若年層に向けて啓発を図った。
- ・男女間の暴力の潜在化を防ぐため、DV相談支援センターにおいて、電話相談を業務委託にて実施。(相談件数:延べ283件)
- ・DV被害者が、人目を気にせず安心して相談窓口の情報を得られるよう、DV相談窓口を周知するカードを市役所本館や各区区役所などの女子トイレに設置した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・DV相談専用ダイヤル設置の目的が、相談の第一歩として相談者から相談しやすい状況を整えるためのものであることから、DVの初期相談的なものが多くの件数を占める点では、所期の目的を果たしていると考ええる。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・あらゆる暴力を身近な問題として認識し、暴力を許さない意識の醸成を図ることができるよう、引き続き啓発に取り組んでいく。

事業シート (事業名) 活動拠点施設事業

◇事業目的・事業対象

女性のエンパワーメントを支援する活動及び男女共同参画を推進する市民活動団体等の活動拠点としての機能を充実することにより、男女共同参画の推進を図る。

◇事業の概要

- ・男女共同参画社会の実現に向けて、浜松市男女共同参画・文化芸術活動推進センター(あいホール)を男女共同参画を推進する活動拠点として、各種講座、相談業務、情報発信、団体育成を委託して行う。
- ・将来的に地元で活躍できる人材の育成を目指し、「はまつ女性カレッジ」を委託事業にて開催する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S62	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市男女共同参画推進条例、浜松市男女共同参画・文化芸術活動推進センター条例	-	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	24,331	24,266				
	決算	24,331					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	24,331	24,266				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		3,500	2,800				
人工	正規	0.5	0.4				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール		ターゲット	ゴール		ターゲット
① 貧困			⑩ 不平等		
② 飢餓			⑪ 都市		
③ 保健			⑫ 生産・消費		
④ 教育	○ 4.7		⑬ 気候変動		
⑤ ジェンダー	○ 5.c		⑭ 海洋資源		
⑥ 水・衛生			⑮ 陸上資源		
⑦ エネルギー			⑯ 平和		
⑧ 成長・雇用			⑰ 実施手段		
⑨ イノベーション					

・事業とゴールの関連性

男女共同参画を推進する学習の機会は、ジェンダー平等への意識啓発につながるとともに、女性の能力が発揮される社会の実現が期待される。

令和2年度	(管理番号)	(担当課)	(責任者)	(基準日)
07 02 04 01 000615000 04	UD・男女共同参画課	新谷 直幸	令和 2 年 7 月 1 日	

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
啓発事業参加者数(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	2,200	2,800	2,800	2,800	2,800	2,900	3,000
実績値	2,836	4,195					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
相談件数(件)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	1,500	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900
実績値	1,933	1,709					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
講座の満足度(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	95	95	95	95	95	95	95
実績値	93	98.2					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
はままつ女性カレッジの総参加者累計(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	48	60	70	80	85	90	100
実績値	46	60					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画を推進する活動拠点において、各種講座、相談業務、情報発信、団体育成事業を委託にて行った。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

○あいホールにおける、男女共同参画推進事業の実施

男女共同参画推進のための活動拠点施設として、男女共同参画の意識啓発や人材育成に成果をあげた。

・啓発人材育成事業

「はままつ女性カレッジ」講座など全15事業の開催

講座等参加者:4,195人 講座等実施回数:52回 参加者満足度:98.2% ※講座終了後アンケートより

・相談事業 相談件数 1,709件(悩みごと相談・女性法律相談・男性相談)

・情報事業 インターネット等による情報発信及び図書コーナーにおける男女共同参画に関する図書の貸出等

・団体育成事業 地域における男女共同参画関連団体のネットワーク拡充及び団体育成支援

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・これまで集客に苦労した講座については、公開講座から出前講座に見直すことによって、参加人数の底上げを図り、効果的な事業につなげた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

男女共同参画推進事業について、事業実績等を男女共同参画審議会にて評価を行い、より充実した講座等が開催できるよう見直しを図っていく。